

## 2022年度 日本臨床検査医学会 第1回理事会（現理事・監事）議事録

日 時：2022年3月27日（日）13：00～14：00

場 所：日本臨床検査医学会事務所 東京都千代田区神田小川町2-2（〒101-0052）

開催方法：Zoom会議（ホスト会場：学会事務局）

議事録署名人：出席した理事長、副理事長、監事

出席（事務所）：村上正巳理事長、東條尚子副理事長、メ谷直人会計理事、宮地勇人総務理事、山田俊幸庶務理事、大西宏明、田部陽子、古川泰司 各理事  
古田耕監事、野澤孝志会計顧問（10名）

出席（オンライン）：小柴賢洋、前川真人、吉田 博、下 正宗、長沢光章 各理事、  
藤井 聡、諏訪部章、東田修二、木村秀樹、日高 洋、大澤春彦、柳原克紀 各支部理事  
福武勝幸 監事（13名）

欠席：なし

### I 開会

村上正巳理事長より、2022年3月21日で新型コロナウイルス感染拡大の影響による蔓延防止措置が解除されたが、開催案内時には、その措置の動向が見通せない状況であったため、対面での開催は避け、学会事務局への出席は出席可能な常任理事・監事とし、その他の理事、監事はZoomを利用したWEB会議での参加での開催としたことが伝えられ了承を得て、議事を進めた。

### II 報告事項

#### 1. 支部報告

各支部の終了した例会・総会・地方会、そして例会・総会・地方会の予定、支部役員の交代、支部での検査関係の教授、部長、技師長の退任・新任等について報告があった。

#### 2. 2021年度事業報告、各種委員会報告（山田俊幸 庶務理事）

2021年度の各種委員会報告がなされた。（別紙参照）

#### 3. 第69回学術集会報告（宇都宮 2022/11/17(木)～11/20(日)、山田俊幸 会長）

2022年11月17日（木）～20日（日）に、栃木県総合文化センター（メイン）、宇都宮東武ホテルグランデ（サブ）において、山田俊幸会長（自治医大）のもと、テーマ「地域社会に貢献する臨床検査」であること、可能であれば対面開催、2022年5月13日～6月17日に演題募集を予定していること、なお、運営会社は（株）サンプラネットが担当すること等が報告された。

#### 4. 第70回学術集会報告（長崎 2023/11/16(木)～11/19(日)、柳原克紀 会長）

2023年11月16（木）～19日（日）に、出島メッセ長崎（長崎）、運営会社は（株）コンベンションリンクージュとすることが報告された。

#### 5. 専門医関連事項について（山田俊幸 専門医担当理事）

2022年4月開始の2022年度臨床検査専門医専門研修プログラム専攻医について、プログラム制：5名、カリキュラム制：17名で合計22名であること、2023年度専門研修プログラムの更新申請と新規申請が4月から5月に申請依頼予定であることが報告された。

#### 6. 本学会からの関連団体委員推薦について（更新）（村上正巳 理事長）

前回の理事会（2021/12/25）以降に推薦した下記委員が報告された。（敬称略）

①医療関連サービス振興会 継続依頼（任期：2022年4月1日～2024年3月31日）

衛生検査所専門部会 副部長：佐守友博

衛生検査所調査指導中央委員会 委員長：佐守友博

衛生検査所専門部会 委員：高木康先生、三宅一徳

②医療関連サービスマーク（衛生検査所業務）調査指導員名簿（任期：2022年4月1日～2025年3月31日）

北海道地区：幸村近先生、藤井聡

東北地区：高橋伸一郎、植木重治

関東甲信越地区：メ谷直人、土屋達行、三宅一徳、古田耕

北陸地区：森三佳、木村秀樹

中部地区：前川真人、中谷中

近畿地区：植山實、前田育宏、井垣歩

中国地区：長井篤、横崎典哉、岡田健

四国地区：桑島実、西宮達也

九州地区：柳原克紀、橋口照人

③日本中性脂肪学会 中性脂肪蓄積心筋血管症（TGCV）診断基準検討委員会委員（任期：2022年4月1日～2023年3月31日）：吉田博

④血液検査パニック値（緊急異常値）に係る死亡事例の分析専門分析部会部会員任期：（任期：2022年4月1日～2023年3月31日を予定）

専門分析部会長：村上正巳

専門分析部会員：諏訪部章、大西宏明

## 7. 日本臨床検査医学会誌表紙の変更について（村上正巳 理事長）

名誉会員より遺伝子に特化した図案は学会の性格に合わない、緑に白抜き文字は見え難い等の意見があったことにより表紙を変更（更新）することとなり、複数のデザイナーによるコンペを実施し、事前に常任理事で選んだ2案で理事会のメール審議にて投票を行い、6票と15票となり多数であった案を新表紙に決定したことが報告された。

## 8. 日本医学会用語委員会報告（東條尚子 日本医学会用語委員）

「優性遺伝」「劣性遺伝」に代わる推奨用語について、それぞれ「顕性遺伝」「潜性遺伝」に移行することが報告された。

## 9. 関連団体報告

### 1) 臨床検査振興協議会報告（村上正巳 臨床検査振興協議会 理事長）

診療報酬改定小委員会、在宅医療における臨床検査に関する小委員会、遺伝子関連検査に関する小委員会、感染症対策に関する小委員会、広報委員会、大規模災害対策委員会、将来ビジョン検討委員会の活動報告、法人化に向けての定款が承認されたこと、法人名を日本臨床検査振興協議会とすること、事務所を東京都中央区東日本橋に移転したこと、ホームページの改訂がなされたこと、2022年4月1日に登記予定であることが報告された。

### 2) 日本臨床検査同学院報告（宮地勇人 同学院 理事長）

一級臨床検査士資格認定試験、二級・緊急臨床検査士資格認定試験、遺伝子分析科学認定士資格認定試験、POCT測定認定士資格認定試験の2021年度の結果と2022年度の予定、2021年第37回「緒方富雄賞」選考結果、贈呈式、記念講演会を11月28日（日）に学士会館で開催したこと、2021年11月13日（土）に、第68回日本臨床検査医学会学術集会以共催シンポジウム：テーマ「新たな時代に向けた臨床検査領域の人材育成」を富山国際会議場とWEBのハイブリッド開催したことが報告された。

## 10. 日本臨床細胞学会からの細胞検査士認定証での理事長印の申し入れについて（村上正巳 理事長）

細胞検査士の認定証について、日本臨床細胞学会と日本臨床検査医学会との連名で発行しているが、日本臨床細胞学会から理事長印のデータ印使用依頼があったことについて、当学会としては、認定に関する委員会に実際に委員が出席して、認定制度に関与し試験の実施内容、結果などを把握したうえで承諾することが承認されていたが、日本臨床細胞学会より、従来通り、実際に押印を行うこととしたいと連絡があり、元通りの方法となったことが報告された。

## 11. その他

特になし。

### Ⅲ 審議事項

#### 1. 2021 年度計算書類について（村上正巳 理事長、〆谷直人 会計理事）

（会計監査：古田 耕 監事、福武勝幸 監事）

##### 【一般会計】

会費収入：会員マイページ移行に伴い、過年度分の徴収が進んだため予算より約 500 万円強増収となった。ただし、会員マイページ費用と会費決済手数料で 200 万円程度の経費がかかっている。

賛助会費：1 社増えた。

臨時会費：減収となった。学術集会での演題登録が少なかったのではないと思われる。

専門医関連：コロナの影響、機構専門医研修が修了しないため、受験者が少なかったことにより減収。

JACLaS、栄研化学（株）より寄付金が得られた。

許諾使用料：2020 年から正式に学術著作権協会に、学会機関誌、臨床検査のガイドライン JSLM、血尿診断ガイドライン許諾申請を委託したことにより、許諾使用料が増収となった。

ハンズオンセミナー：2020 年度までは、ワークライフバランス委員会が企画した学術集会のワークショップについて日本医師会の補助を受けていたが、内容の一部が補助対象として認められなかったため、2021 年度はハンズオンセミナーを補助対象として申請したことにより収入を得られた

第 67 回学術集会より収支差額の約 400 万円の収入があった。

当初予算した特別会計から臨床検査のガイドライン JSLM2021 の製作費 500 万円、一般会計への補填 500 万円、合計 1000 万円を繰り入れなくて済んだ。

機関誌製作費：A4 サイズになったこと、さらに投稿数自体の減少もあり、ページ数が減った。そのため、経費が減少した。

各種委員会活動費、専門医および管理医試験費用：コロナの影響により、会議がオンライン開催となったこと、試験の際、実行委員の参加人員を最小限にしたことにより経費が減少した。

会議費、旅費交通費、通信費：コロナの影響により、オンラインでの開催、メール配信などにより減少した。

納付消費税：2020 年度分の消費税を 2021 年 2 月に納付している。

収支差額：1100 万円超の収益となった。

##### 【特別会計】

臨床検査のガイドライン JSLM2021 の製作費と一般会計への補填分、合計 1000 万補填しなくて済んだ。

##### 【アジア交流基金】

ASCPaLM 会費：2021・2022 年度は、ASCPaLM 大会、Executive Board 会議が現地開催できなかったため予算の実行遂行はなかった。次回会議で 2021・2022 年度の 2 年分を納付予定である。

なお、第 67 回学術集会计計報告は既に理事会で報告済みであるが、2021 年度に係る定時社員総会で、2021 年度会計報告と第 67 回学術集会计計報告を承認を得たうえで合算して税務申告する。

例年、学術集会计計報告は、定時社員総会への報告、税務申告は会計のまとめの都合上 1 年遅れとなる。

以上、〆谷直人会計理事より会計報告がなされ、古田耕監事から、2022 年 3 月 11 日に学会事務所において、福武勝幸監事とともに会計監査を行い、事業報告、会計書類の確認をし、会計報告書類の記載は合致しており的確であると監査報告があり、2021 年度に係わる計算書類について承認された。

#### 2. 2022・2023 年度役員について（村上正巳 理事長）

定款第 6 章 理事および監事（選任）第 28 条 3 「理事長は、理事および監事の選任を定時社員総会の決議に諮る場合、理事および監事選任議案を作成して提出しなければならない。」により、2022・2023 年度の理事候補者として、2020 年度就任で選挙によらず重任可能な理事の 2 名（〆谷直人、田部陽子）および 2022 年度就任の 8 名（大西宏明、木村聡、日高洋、古川泰司、松下一之、満田年宏、森兼啓太、吉田博）、支部から推薦された支部理事 7 名（高橋聡、志村浩己、東田修二、伊藤弘康、山崎正晴、大澤春彦、柳原克紀）、次期理事長予定者より推薦された指名理事 4 名（井上克枝、下正宗、堀田多恵子、矢富裕）、監事候補者 1 名（諏訪部章）が提示され、承認された。なお、2020 年就任で 4 年任期の監事は古田耕監事。（敬称略）

### 3. 第17回アジア臨床病理・臨床検査医学会について（村上正巳 理事長、宮地勇人 会長）

2022年10月7日（金）～9日（日）にアリストンホテル神戸（兵庫県神戸市）において、宮地勇人会長のもと、総合テーマ「SDGs（Sustainable Development Goals）における臨床検査と国際標準化」として開催予定であること、そして、アジア諸国との相互理解と協力を推進するうえで、日本の活動（産学連携）の現状周知の意味も含めて、日本医療検査科学会第54回大会（神戸国際会議場）、日本臨床検査機器試薬・システム振興協会(JACLaS) EXPO 2022－臨床検査機器・試薬・システム展示会（神戸国際展示場）との同時併催であることが報告された。

日本臨床検査医学会からの本大会への補助金について、2006年10月11日、12日に神戸国際展示場において、熊谷俊一会長のもと開催された第9回アジア臨床病理学会と同額の200万円を、アジア交流基金から補助金とすることが提案され、承認された。

### 4. 第12回特別例会（2023年）会長について（村上正巳 理事長）

2023年4月に東京、東京国際フォーラムを中心とした第31回日本医学会総会開催に合わせて、当会の第12回特別例会（日本医学会分科会）を開催するにあたり、開催場所が東京のため、2021年度第3回理事会（2021/10/16開催）で関東・甲信越支部に推薦依頼をしていたが、関東・甲信越支部より古川泰司（帝京大：教授）の推薦があり、承認された。

### 5. KSLM/LMCE 組織委員会からの講演者依頼について（村上正巳 理事長、宮地勇人 総務理事）

KSLM/LMCE 組織委員会より当会に LMCE2022&KSLM 63th annual meeting の講演者の推薦依頼があり、国際委員会で検討する提案があり、承認された。

## IV 閉会

村上正巳 理事長、東條尚子 副理事長、福武勝幸監事から一言挨拶があり、本理事会は閉会された。

以上

2022年3月27日

一般社団法人日本臨床検査医学会 理事会

### 議事録署名人

理事長 村上正巳 ㊟

副理事長 東條尚子 ㊟

監事 福武勝幸 ㊟

監事 古田耕 ㊟